

小学校 第4学年 道徳科 学習指導案

神奈川県横浜市立上瀬谷小学校
主幹教諭 片山 圭祐

主題名 正しいことはむねをはって

教材名 見方を変えて前向きに（1時間）

内容項目 A 善悪の判断、自律、自由と責任

本時のねらい ごみに対する「ぼく」の考え方が変わった理由を考えることをとおして、ものの見方を変えることで行動まで変わることがあることに気づき、見方を変えることで正しいと思うことを前向きにやっという実践意欲と態度を育てる。

指導時期 1月ごろ

指導者用デジタル教材活用の意図・目的

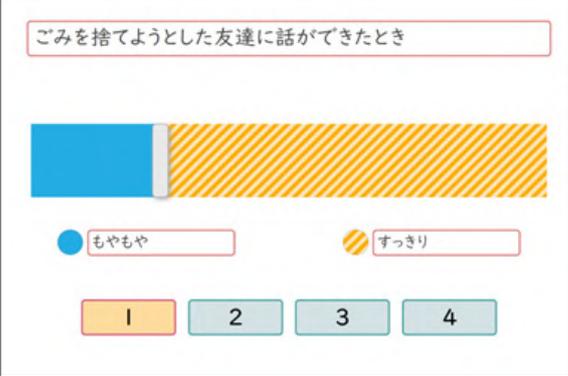
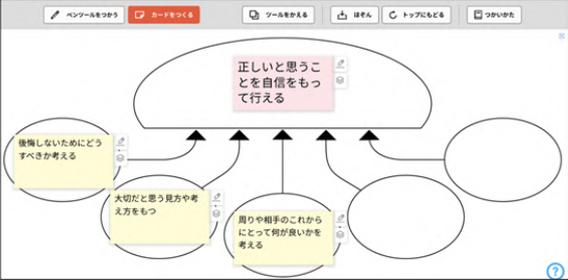
教材の視聴場面で「指導者用デジタル教材」の動画を使用することで、教師の範読が難しい漫画形式の教材が視聴しやすくなると考えられる。登場人物の言葉や思ったことがわかりやすくなり、個人で読んだ際には読みまちがえたり、見落とししたりしそうな場面や言葉にも、児童が注目しやすくなることが考えられる。

本時の展開

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 1. 正しいとわかっているけどできなかったことについて考える。 ●「指導者用デジタル教材」を活用した教材提示後に、次の発問をする。 <p>T：正しいとわかっているけどできなかったことはありますか。</p> <p>C：ある。自習の時間に話をしている友達に注意できなかった。</p> <p>C：教室の床にごみが落ちていたんだけど、そのままにしてしまった。</p> <p>C：掃除のときに雑巾がけの仕事だったんだけど、牛乳がこぼれているところを汚いと思って避けて拭いてしまった。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ●「指導者用デジタル教材」の二次元コードから「教材の解説」を開き、教材の概要（あらすじ、登場人物紹介）を確認する。 

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	<p>T：「ぼく」は、公園にごみを捨てていた友達に、注意できませんでした。そのときの気持ちを考えながら読みましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「動画」 ボタンをクリックし、教材を動画で提示する。 
展開	<p>2. 「見方を変えて前向きに」を読んで、正しいと思うことを前向きにやっいていこうとすることの大切さについて考える。 [考えよう]</p> <p>T：公園にごみを捨てた友達に「ぼく」が注意できなかったのは、どんな気持ちがあったからでしょう。</p> <p>C：友達に嫌な思いをさせてしまうと思ったから。</p> <p>C：いい子ぶっていると思われると思ったから。</p> <p>C：どう話せばわかってもらえるのか悩んでしまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教材」のさし絵を映し、うかない顔をしている「ぼく」の表情を拡大して、「ぼく」の気持ちを考えられるようにする。  <ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教材」のツールバーから「心情メーター」を立ち上げ、「ぼく」の気持ちを視覚的に表現し、それをもとに理由を話す工夫も考えられる。 

	活動内容	デジタル教材の活用
展開	<p>T：「護美箱」という言葉に出合って、「ぼく」のごみへの見方は今までとどう変わったのでしょうか。</p> <p>C：今までは捨てるもの、汚いもの、いらぬもの、として見ていたけど、ごみ箱に捨てることで、周りの美しさが護られるものになった。</p> <p>C：今まではなにげなく捨てていたけど、正しい場所に捨てることで環境をきれいにできているんだと思えるようになった。</p> <p>C：「汚いから嫌だな」ではなく、「汚いままにしておくのが嫌だな」と考えられるようになった。</p>	<p>●「指導者用デジタル教材」のさし絵を映し、「ぼく」のごみへの見方が変わったことに注目できるようにする。</p> 
	<p>T：数日後、また公園にごみを捨てて帰ろうとしている友達に、「ぼく」が「ちょっと待って。」と言って、話ができたのはどうしてでしょう。</p> <p>C：言わないと前みたいに後悔すると思った。</p> <p>C：その友達のためにも言った方がいいと思った。</p> <p>C：「ごみ」は「護美」という自分がいいなと思った見方を友達にも知ってほしいと思った。</p>	<p>●「指導者用デジタル教材」のさし絵を映し、「ぼく」の表情に注目して、自分が正しいと思うことを伝えることを決意している様子を考えられるようにする。</p> 
	<p>T：正しいと思うことを伝えられた「ぼく」はどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>C：すっきりした。</p> <p>C：言ってよかったと思った。</p> <p>C：不安もあったけど、正しいと思うことを言えた自分に自信がもてた。</p>	<p>●「指導者用デジタル教材」のさし絵を映し、「ぼく」の笑顔から考えるようにする。</p> 

	活動内容	デジタル教材の活用
展開	<p>3. 正しいと思ったことを自信をもって行うために大切な見方や考え方について自分のこととして考える。</p> <p>T：正しいと思ったことを自信をもって行うために自分にとって大切だと思う見方や考え方はなんですか。</p> <p>C：自習の時間に話している友達がいたら、「静かに」と言うだけでなく、「やるべきことをやろう」と自分が大切だと思う考えを伝えるようにしたらいいかなと思った。</p> <p>C：掃除のときの雑巾がけで今までは牛乳がこぼれているところとかは汚いから嫌だなんて思っていたけど、そこを汚いままにしておくほうが嫌だな、自分がきれいにしようって考えるようにしようと思った。</p>	<p>●「指導者用デジタル教材」のツールバーから「心情メーター」を立ち上げ、「ぼく」の気持ちを視覚的に表現し、それをもとに理由を話す工夫も考えられる。</p>  <p>●「指導者用デジタル教材」のツールバーから「思考ツール」を立ち上げ、「クラゲチャート」を選択し、正しいと思うことを自信をもって行うための見方や考えをまとめていく。</p> 
まとめ	<p>4. 本時の学習を振り返る。</p> <p>T：今日の学習で学んだことを振り返りましょう。</p>	<p>●ふだん使用している学習支援ソフトウェアで振り返りを記入させてもよい。</p> <p>本時の学習で使ったクラゲチャートを見ながらどんな見方や考え方がもてたかを選択できるようにするなど、記入しやすいものにするとも考えられる。</p>

指導者用デジタル教材を活用したことで得られた効果

漫画形式の教材であるため、教材を視聴する場面で、せりふのみを教師が範読すると場面の状況がわかりにくくなるのが考えられる。しかし、「指導者用デジタル教材」の動画では、場面が切り替わり、登場人物によって声を変えられているため、児童が内容を理解しやすい。



展開の場面では、「指導者用デジタル教材」のさし絵を拡大し、「ぼく」の表情に着目することでそのときの気持ちや考えが想像しやすくなる効果が得られる。また、「心情メーター」は、みんなでそのときの心情を考えたり、児童一人を指名して操作させたりする工夫が考えられる。どうしてそのように表したのかを児童に問うことで、もやもやしたり、すっきりしたりする気持ちの理由などが、話しやすくなる効果が得られる。



展開の最後の発問場面での「思考ツール」は、正しいと思うことを自信をもって行うために大切な見方や考え方を「クラゲチャート」などのツールでまとめ、保存・印刷して教室の掲示に活用することができる。「思考ツール」の活用を積み重ねていくことで、他教科においても児童が「思考ツール」を活用できるようになっていくことも考えられる。

